

注意事項

1. 会場使用上の注意

- 1) 飲食は、メインアリーナ・サブアリーナ内では行わないこと。
* 飲食可能エリアは選手控室（養生シートエリアのみ）、サブアリーナ観客席、飲食スペース（会場椅子設置エリア）とする。
- 2) アリーナ及びサブアリーナは土足厳禁なので、体育館シューズに履き替えること。
- 3) 会場内はフラッシュを使用した撮影は禁止する。
- 4) 会場内で発生したゴミは、各自責任を持って持ち帰り処分すること。

2 アリーナ使用時間

- 1) 3日（金）の公式練習は、17：00～20：00とする。
 - ・クラスごとに選手受付が公式練習の時間内に行われる。
 - ・公式練習の時間内に、副審判長、審判長の判断のもと、必要に応じてランプや車椅子等の器具検査を行う。
- 2) 3日（金）の開場時間は16：00とする。
但し、開場後のウォーミングアップ開始は17：00とする。
- 3) 4日（土）、5日（日）の開場時間は8：30とする。
- 4) 開場後のウォーミングアップは、8：30から9：45まで使用可能とする。
 - ・ 4日（土）は開会式準備があるため、開場後のウォーミングアップは8：30から9：45まで練習コートのみとする。
 - ・ 5日（日）の開場後のウォーミングアップは、第一試合の選手のみ競技コートの使用を許可する。ただし、コール受付の時間の管理については、選手各自で行うこと。
練習コートの使用は8：30から9：45までとする。
- 5) 3日（金）の公式練習後および4日（土）から5日（日）の競技終了後は、手際よく後片付けをすませ、速やかに退場すること。

3 弁当について

- 1) 申し込み後の弁当のキャンセルは不可とする。
- 2) 事前に申し込まれた弁当は、11時より総合受付で配布する。配布時間は11時から14時まで。時間内に必ず取りに来ること。
- 3) 代金の支払いについては、事前入金すること。
- 4) 弁当ガラは、各自でお持ち帰りとする。

4 荷物の送付について

- 1) 自宅までの送付を希望する場合は、選手控室内、荷物置き場に送付票の記入をして置くこと。但し、着払いのみとする。
- 2) 宅配便の伝票は大会受付にあるので、必要な場合は申し出ること。(クロネコヤマト、郵便パック)
- 3) 宅急便の集荷はクロネコヤマトのとなるため、ゆうパック希望者は近隣営業所へ各自持ち込みすること。
- 4) 宅配便の基準(縦・横・高さの合計が160、重さが25)を超えるものの送付の場合や、送付荷物に保険加入を希望する場合は、伝票に記載の上、直接配送業者と調整すること。

5 駐車場について

- 1) 駐車場については、定められた場所に安全に注意して譲りあって使用すること。

6 大会参加者の注意事項

- 1) 主催者において傷害保険には加入しているが、各自事故、ケガの無いように努めること。
- 2) フィジオルーム(コンディショニングルーム)は、会場図参照のこと。
- 3) 貴重品は各自で保管すること。
- 4) 練習コートの使用については、次に試合のある選手の利用を優先すること。
- 5) 競技に必要な器具・用具は、試合以外はサブアリーナで保管すること。

7 報道関係

- 1) 報道関係からの依頼がある選手はミックスゾーンでの取材を行う。
- 2) 取材を希望された選手は必ず対応をすること。

大会申し合わせ事項

1. 競技規則について

この大会は「日本ボッチャ協会競技規則 2021-2024 v.1」並びに大会申し合わせ事項によって実施する。競技規則に記載のない問題が発生した際には、規則3ページの記述に基づき審判長及び大会技術委員長の判断により問題を解決する。

2. 器具検査について

- 1) 器具検査は時間を決めて行うことはせず、公式練習を含む大会期間中、審判、副審判長、審判長が必要と判断した場合適宜行う。
- 2) 器具検査の対象はランプ、ポインター、グローブ、スプリント、車椅子、コミュニケーション機器などとする。
- 3) 器具の合格ステッカーは貼付しない。

3. ボール検査について

- 1) ボール検査はコールルームにおいて、審判、副審判長、審判長が必要と判断した場合適宜行う。
ボール検査は、コールルームにおいて、副審判長および審判長が抽出した順に行う
- 2) ボール検査では、ロールテスト、周長テスト、重量テストおよび目視検査を行う。
- 3) ボール検査でジャックボールが不適格となった場合のみ、大会球のジャックボールを貸し出す。

4. 招集について

コールルームは競技開始30分前に開場し、15分前に閉鎖する。選手はコールルームが開場しているうちに受付を完了すること。コールルームには、選手本人およびアクレカード（名札）を受け取ったスポーツアシスタントあるいはランプオペレーター及び選手1名につき1名のコーチ／コーチングアシスタント以外は入ることができない。大会球の使用を希望する場合は、コールルームにて審判に申告すること。

5. ナンバーカードおよびアクレカード（名札）について

- 1) ナンバーカードは選手の受付時に2枚（BC1、BC4 フットプレーヤー及びBC3 クラスはスポーツアシスタント／ランプオペレーター分含め3枚）渡される。ナンバーカードは、選手は胸か脚（前面）に取り付け、ランプオペレーターは背中に、そのほかのスポーツアシスタントは胸にナンバーカードを取り付ける（1枚は予備）。
- 2) アクレケースに会員証を入れること。（アクレカード：名札）会員証を忘れた場合は、

大会受付時に申し出ること。会員証が届いていない選手も受付で申し出ること。

- 3) ナンバーカードおよびアクレカードは、コールルームに入る場面や審判に確認を求められた時には提示すること。ナンバーカードおよびアクレカードがない選手はコールルーム受付ができない。

6. 競技進行について

競技時間は、原則公表した競技進行によって運営されるが、試合の延長などにより遅延することもある。その場合は掲示板に時間の変更を連絡するので、選手および関係者はよく確認すること。なお、通告のあった内容の未確認によって発生した不手際は、すべて選手の責任となり、いかなる抗議も主催者は受け付けない。

7. 競技方法

- 1) すべて男女別の個人戦で、「日本ボッチャ協会競技規則 2021-2024 v.1」が提示する障害区分 BC1、BC2、BC3、BC4 の4クラスで実施する。
- 2) 各クラスとも予選リーグ戦を行い、上位者による決勝トーナメントを実施する。予選リーグの順位は、BISFed 競技マニュアルに則り、①勝ち数、②直接対決、③得失点差、④総得点、⑤総勝ちエンド数で判断する。
- 3) 予選リーグの人数が異なる場合、予選リーグの全ての試合が終了したのちに全てのリーグは最小選手数のリーグが基準となるように、各リーグの最下位の選手の試合結果を削除してリーグ結果は再集計される。
- 4) スポーツアシスタントは BC1 クラス及び BC4 フットプレーヤーにのみ認めるものとする。またランプオペレーターは BC3 クラスの選手のみ認めるものとする。それ以外の競技者については、コールルーム及び競技中にスポーツアシスタント／ランプオペレーターを使用することはできない。
- 5) スポーツアシスタント／ランプオペレーターの手配は事前に行い、アクレカードの申請のないスポーツアシスタント／ランプオペレーターを使用することは認められない。尚、やむをえない事情でスポーツアシスタント／ランプオペレーターを登録者以外のものを使用する場合は、大会総合受付を通じて大会技術委員長に申請すること。
- 6) 残り時間のコール及びエンド間の時間計測については公用語（英語）で行われる。

8. 閉会式について

- 1) 大会終了後、閉会式を行う。
- 2) 表彰式は行わず、本大会に勝ち上がりの選手の発表を行う。

9. クラス分けについて

- 1) 競技中や練習中等、クラス分け委員による競技観察を行う。

- 2) 競技観察等の対象選手名は、クラス分け委員会の指定した場所に掲示される。当該選手は、必ずクラス判定の結果用紙を受け取るまで会場内に留まること。
- 3) 掲示されていない選手に関しても、クラス判定を受けてからの期間に関わらず、現時点での当該クラスが妥当と判断されない場合、再度判定を行うことがある。その場合、クラス分け委員会から当該選手に別途連絡を行う。
- 4) クラス判定は、BOCCIA CLASSIFICATION RULES 5th Edition October 2021 に準じて判定する。
- 5) 競技観察や再判定等の結果から、対象選手のクラス変更を行う可能性がある。クラス変更後の出場クラスについては、審判長及び大会技術委員長の判断により行う。
- 6) 競技中に使用するグローブやベルトなどの競技用補助具（車椅子も含む）について、クラス判定を受けたときに申し出のあった補助具以外は認められない。変更している選手は、6月3日（金）の受付時に必ず申し出てクラス分け委員会の判断を仰ぐこと。

10.日本ボッチャ選手権大会のシード権獲得について

- 1) 各クラスの成績上位者は、日本ボッチャ選手権大会の本大会への参加となる。
- 2) 勝ち上がりとなる成績上位者は、以下の通りとなる。
①BC1 : 男子 2名/女子 2名 ②BC2 : 男子 4名/女子 4名
③BC3 : 男子 4名/女子 4名 ④BC4 : 男子 2名/女子 2名
※東日本・西日本均等割
- 3) 成績上位者の日本選手権大会の出場が困難・辞退した場合、以下の措置にて対応する。
 - ・ 当年度の予選会実施後、該当クラスの次点選手を補充選手とする。
 - ・ 当年度の予選会実施後、当年東西予選会出場選手の該当クラスの各次点選手によりシーディングマッチを実施し、勝者を補充選手とする。
 - ・ 当年度日本選手権出場申し込み時に事態が発生した場合、大会の欠場として取り扱う。
- 4) 予選会登録者が勝ち上がりの選手数に揃わない場合、本大会は登録選手のみで行う。また、予選会においては登録選手の順位決定のための試合を行い、本大会の試合編成資料とする。
- 5) 日本ボッチャ選手権大会本大会については、日本アンチ・ドーピング機構(以下、JADA)により国内最高レベルの競技大会として指定され、ドーピング・コントロール対象大会であり、また、TUE (Therapeutic Use Exemption : 治療使用特例) 事前申請対象大会となっている。本大会に出場予定選手には JADA による「アンチ・ドーピング e ラーニング FAIR PRIDE」の受講とともに使用薬物調査を必須とする。e ラーニングの受講方法や使用薬物調査に関しての具体的な説明は予選会終了後、予選通過者に対し、別途メールにて通知する。